



「国際センターだより」では、土木学会の国際活動の一端を紹介しています。国際センターが毎月発行している「国際センター通信」と合わせて是非ご一読ください。

ACECC および TC (技術委員会) 活動について

1. ACECCとは

1998年にフィリピン・マニラ市で開催された“Civil Engineering International Conference”の成功を踏まえ、主催したJSCE(日本)、ASCE(米国)およびPICE(フィリピン)の3学会が、アジア地域の学協会の連合組織を設立するための準備を進めた。その後、CICHE(台湾)およびKSCE(韓国)を加えた計5団体により、1999年9月27日に“アジア土木学協会連合協議会(Asian Civil Engineering Coordinating Council:略称 ACECC)”が正式に発足した。

ACECCの主たる役割は、アジア地域の土木学協会をコーディネートする連合組織として、アジア土木技術国際会議(Civil Engineering Conference in Asian Region:略称 CECAR)を3年に一度、主催し開催するとともに、多国間連携のもと、アジア地域が抱える社会資本整備や土木技術に関する課題を討議し問題解決を図ることである。2016年4月現在、13か国の学協会が加盟している。第7回目となるCECARは、2016年8月30日から9月2日に米国・ハワイにて開催される。次回第8回は2019年日本で開催されることが決定している。なお、ACECC事務局は、2013年8月から土木学会が担当している。

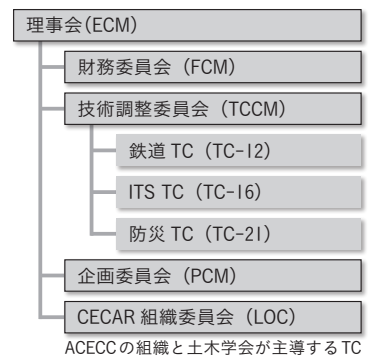
2. TC (技術委員会) 活動

ACECCの最高決定機関として、年2回理事会(ECM)を

開催しており、その下に財務委員会(FCM)、技術調整委員会(TCCM)、企画委員会(PCM)、CECAR組織委員会(LOC)が置かれている。このうち、TCCMは、ACECC加盟国を中心として組織化される各技術委員会(Technical Committee:TC)を統括している。

2001年に最初のTCが設けられて以来、現在までに21件のTCが設置されている。内、12件のTCが終了し、9件のTCが活動中である。JSCEが担当する活動中のTCは、CICHEと連携して提案した「鉄道に関するTC」(Railway Technology Renewal and Expansion in Asian Region)と、2012年3月のECMで承認された「ITSに関するTC」(ITS-based Solutions for Urban Traffic Problems in Asia Pacific Countries)、2015年3月のECMで承認された「防災に関するTC」(Transdisciplinary Approach for Building Societal Resilience to Disasters)の3件である。特に「防災に関するTC」では、学術・部門横断的アプローチにより災害に強い社会づくりを目指して、中長期的に活動を行うことにしている。

土木学会はACECCの加盟国の中でも極めて活発な活動をしており、21件のTCのうち、活動中の3件を含め9件のTCを担当している。



Event Calendar

- 2016年6月9日～10日……………モンゴル土木学会(MACE)年次大会開催(ウランバートル)

《2016年度国際関連行事スケジュール》

国際センターが企画する2016年度の国際関連行事については、以下のURLよりご確認いただけます。過去の行事についても報告記事をご覧ください。

<http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/96>

News Pick Up! と Event Calendarの詳細は、毎月発行の「国際センター通信」をご覧ください。「国際センター通信」は学会ホームページ(日本語版・英語版)からもアクセスできます。また、メール配信を希望される方は、国際センター事務局までメールにてお申し込みください。 ※国際センター事務局 e-mail: iac-news@jsce.or.jp

- 国際部門ホームページ(日本語版): <http://committees.jsce.or.jp/kokusai/node/26> ■ (英語版): <http://www.jsce-int.org/>
- Facebook: (日本語版) <http://www.facebook.com/JSCE.jp/> ■ (英語版): <https://www.facebook.com/JSCE.en>